

**2026年3月期
第3四半期 決算説明会**

2026年1月30日

株式会社 ハイマックス
代表取締役社長 中島 太

High-quality Solution for
Maximum **C**ustomers **S**atisfaction

最高の顧客満足を追及し、
高品質ソリューションを提供する

目次

2026年3月期 第3四半期 業績ハイライト

2026年3月期 第3四半期 連結決算概要

2026年3月期 連結業績予想

～Appendix～
(四半期推移)

2026年3月期 第3四半期 業績ハイライト

2026年3月期 第3四半期 業績ハイライト

売上高

13,471百万円

通期業績予想
に対する進捗
67.4%

売上高営業利益率
(営業利益)

8.4%
(1,127百万円)

通期業績予想
9.1%
(1,820百万円)

連結売上高に対する

非金融向け売上高 比率
(金額)

34.6%
(4,658百万円)

目標
> 30.0% 維持

エンドユーザー向け売上高 比率
(金額)

32.0%
(4,307百万円)

目標
> 30.0% 維持

DX案件向け売上高 比率
(金額)

24.6%
(3,307百万円)

目標
< 25.0% 程度

トピックス①

2025年12月3日 実施
自己株式の取得

取得方法：T o S T N e T - 3

取得総数：1,199,700株

取得価額：1,446,838,200円



自己株式数（2025年12月31日時点）
1,989,900株

2026年1月30日 公表
自己株式の消却

消却株式の種類：普通株式

消却株式総数：1,412,992株

消却予定日：2026年2月27日



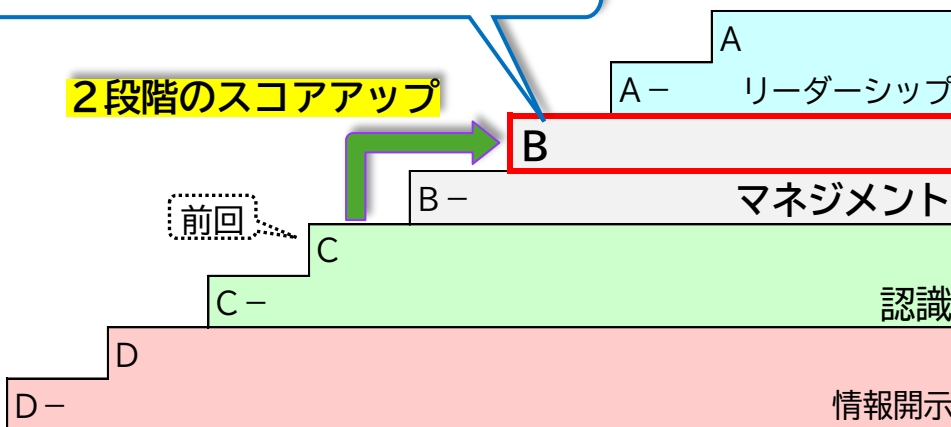
消却後の発行済株式総数（見込）
11,000,000株

トピックス②

CDP※「気候変動」分野における評価スコア「B」を獲得。
前回評価「C」から2段階のスコアアップ。



自社が環境課題に与える影響を
認識した上で、行動している



引き続き、本業を通じてステークホルダー(お客様、ビジネスパートナー、地域社会、株主・投資家、社員)の信頼・期待に応え、当社グループの企業価値を高めるとともに、持続可能で真に豊かな社会の実現に向けて、貢献してまいります。

※ CDP (Carbon Disclosure Project)

2000年に設立された国際的な環境非営利団体。

世界の企業や自治体を対象に、気候変動をはじめとする環境課題への取り組みを調査・評価し、情報開示を促進している。

2026年3月期 第3四半期 連結決算概要

損益計算書

- 売上高 : エンドユーザー向けのDX案件が拡大
⇒ 前期比 1.1% の増収
- 営業利益 : 当社社員及び協力会社様を含めた人材への投資を継続的に実施
⇒ 前期比 14.0% の減益

(百万円)

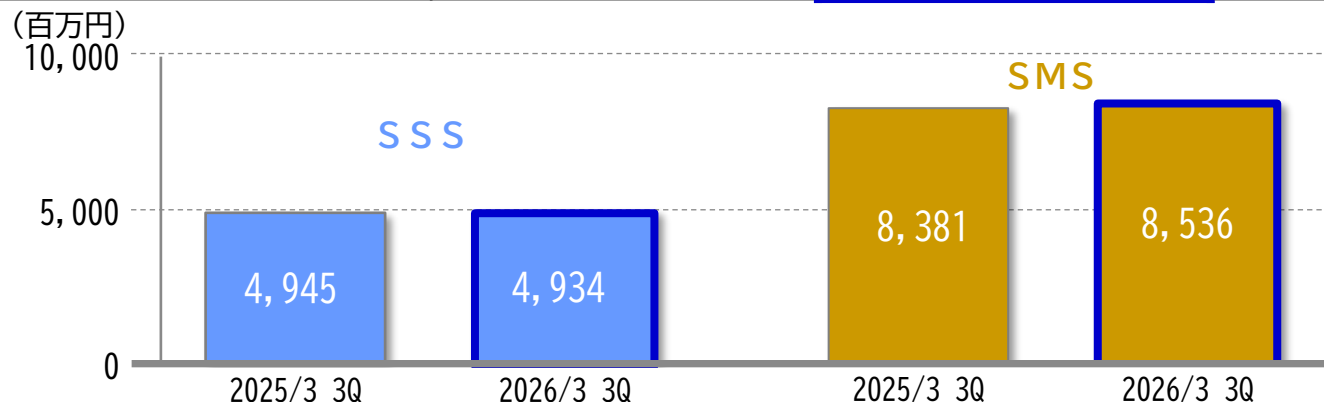
	2025/3期 第3四半期 (構成比)		2026/3期 第3四半期 (構成比)		比較増減 (額) (率)	
売上高	13,326	100.0%	13,471	100.0%	+144	+1.1%
売上原価	10,607	79.6%	10,875	80.7%	+268	+2.5%
売上総利益	2,720	20.4%	2,596	19.3%	▲123	▲4.5%
販管費	1,408	10.6%	1,469	10.9%	+60	+4.3%
営業利益	1,311	9.8%	1,127	8.4%	▲184	▲14.0%
経常利益	1,324	9.9%	1,148	8.5%	▲176	▲13.3%
四半期純利益	904	6.8%	778	5.8%	▲127	▲14.0%

サービス分野別売上高

- **SSS** : 非金融のその他業種向けのDX案件が拡大した一方、公共向けの一部案件が収束
- **SMS** : 保険向けの一部案件が収束した一方、非金融のその他業種の新規顧客取引が拡大

(百万円)

サービス分野	2025/3期 第3四半期 (構成比)	2026/3期 第3四半期 (構成比)	比較増減 (額) (率)	
■ SSS システム・ソリューションサービス	4,945 (37.1%)	4,934 (36.6%)	▲11	▲0.2%
■ SMS システム・メンテナンスサービス	8,381 (62.9%)	8,536 (63.4%)	+155	+1.9%
合 計	13,326	13,471	+144	+1.1%



業種別・顧客別売上高

- 金融向け : S I e r 経由で収束するも、エンドユーザー取引で拡大
- 非金融向け : エンドユーザー取引で拡大

(百万円)

(百万円)

業 種 別	2025/3期 第3四半期 累計 (構成比)	2026/3期 第3四半期 累計 (構成比)	増減率
金融 小計	8,937 (67.1%)	8,813 (65.4%)	▲1.4%
■ 銀行	1,946	2,035	+4.6%
■ 証券	681	681	▲0.0%
■ 保険	4,295	4,100	▲4.5%
■ クレジット	2,015	1,996	▲0.9%
非金融 小計	4,390 (32.9%)	4,658 (34.6%)	+6.1%
■ 公共	1,101	943	▲14.3%
■ 流通	800	746	▲6.7%
■ その他	2,489	2,969	+19.2%
合 計	13,326	13,471	+1.1%

顧 客 別	2025/3期 第3四半期 累計 (構成比)	2026/3期 第3四半期 累計 (構成比)	増減率
S I e r 小計	9,378 (70.4%)	9,164 (68.0%)	▲2.3%
■ 金 融	6,211	6,043	▲2.7%
■ 非金融	3,167	3,121	▲1.5%
エンド ユーザー小計	3,949 (29.6%)	4,307 (32.0%)	+9.1%
■ 金 融	2,726	2,770	+1.6%
■ 非金融	1,223	1,537	+25.7%
合 計	13,326	13,471	+1.1%

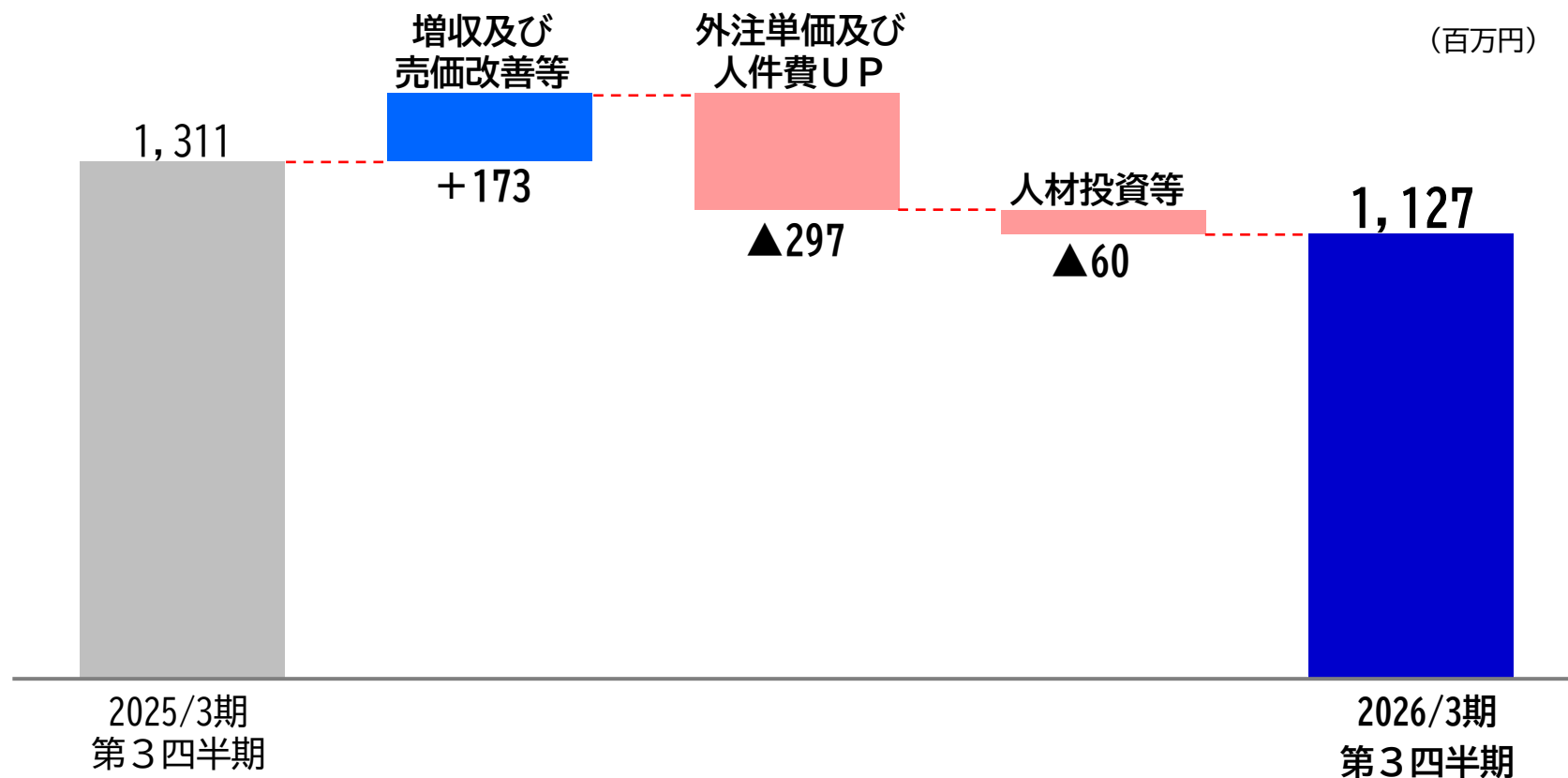
営業利益分析

利益の増加要因

■ 増収及び売価改善等 +173 百万円

利益の減少要因

■ 外注単価及び人件費UP ▲297 百万円
■ 販管費の増加 (人材投資等) ▲60 百万円



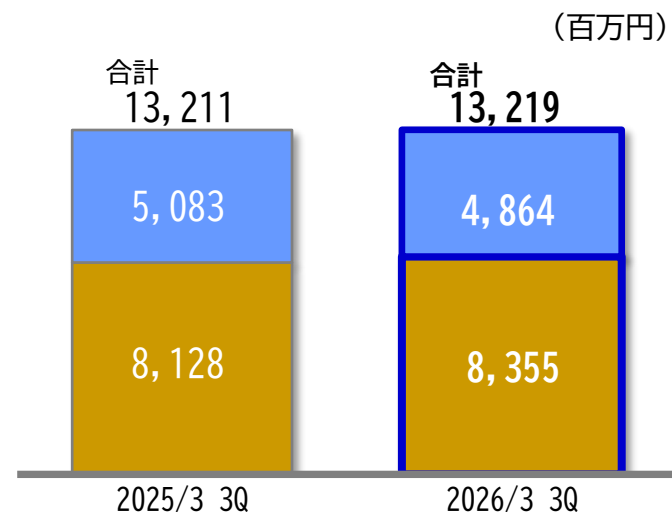
受注高及び受注残高の状況

■ システム・メンテナンスサービスの受注残高が増加

受 注 高

(百万円)

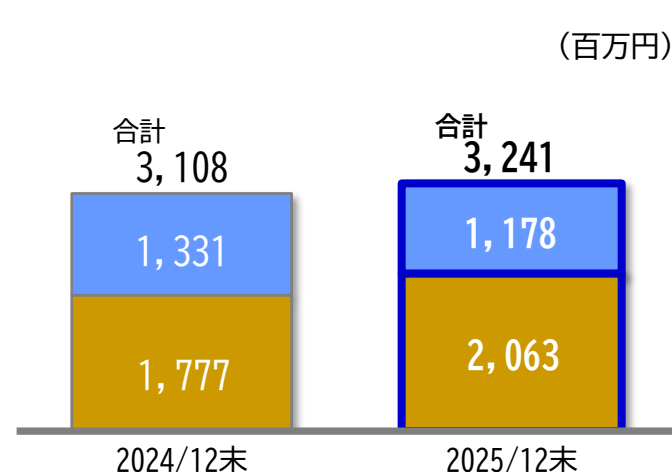
サービス分野	2025/3期 第3四半期 (構成比)	2026/3期 第3四半期 (構成比)	増 減 率
■SSS システム・ ソリューションサービス	5,083 (38.5%)	4,864 (36.8%)	▲4.3%
■SMS システム・ メンテナンスサービス	8,128 (61.5%)	8,355 (63.2%)	+2.8%
合 計	13,211	13,219	+0.1%



受 注 残 高

(百万円)

サービス分野	2024/12期 (構成比)	2025/12期 (構成比)	増 減 率
■SSS システム・ ソリューションサービス	1,331 (42.8%)	1,178 (36.4%)	▲11.5%
■SMS システム・ メンテナンスサービス	1,777 (57.2%)	2,063 (63.6%)	+16.1%
合 計	3,108	3,241	+4.3%



受注残高の内訳

■ 金融／エンドユーザー／DX の案件が増加

業 種 別

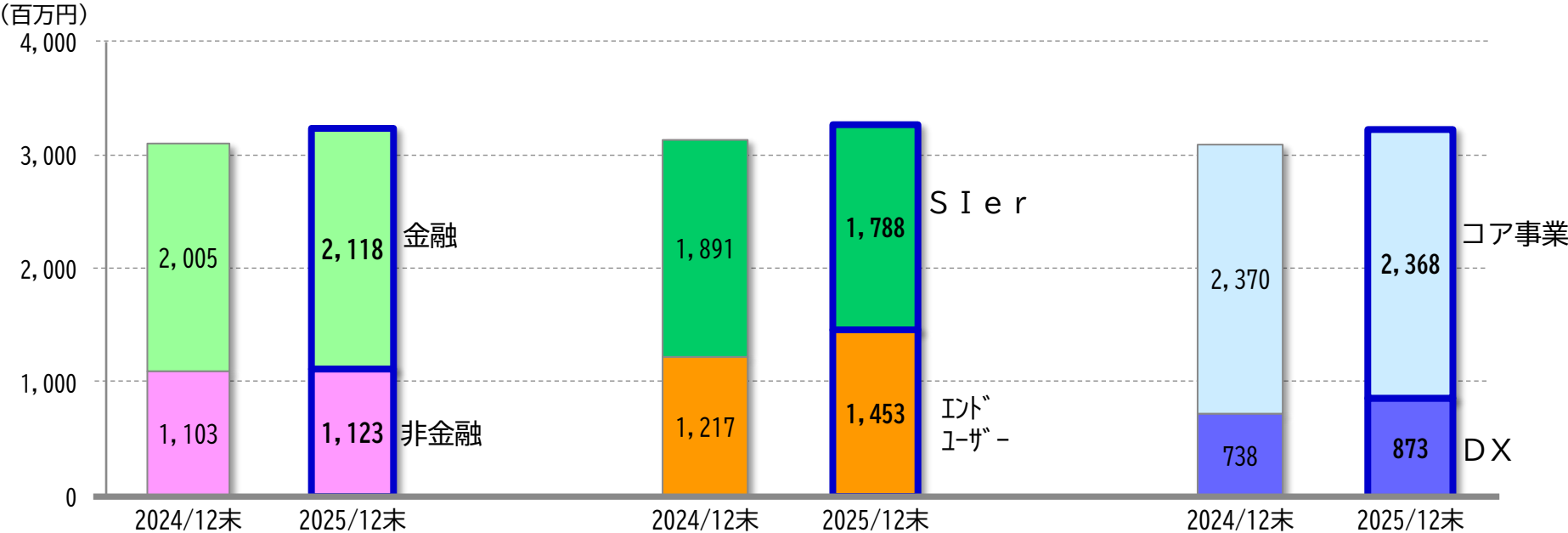
■ 金融向け (前期差)	2,118 百万円 (+112 百万円)
■ 非金融向け (前期差)	1,123 百万円 (+20 百万円)

顧 客 分 野 別

■ S I e r (前期差)	1,788 百万円 (▲103 百万円)
■ インドユーザー (前期差)	1,453 百万円 (+235 百万円)

コア事業・DX別

■ コア事業 (前期差)	2,368 百万円 (▲2 百万円)
■ DX (前期差)	873 百万円 (+135 百万円)

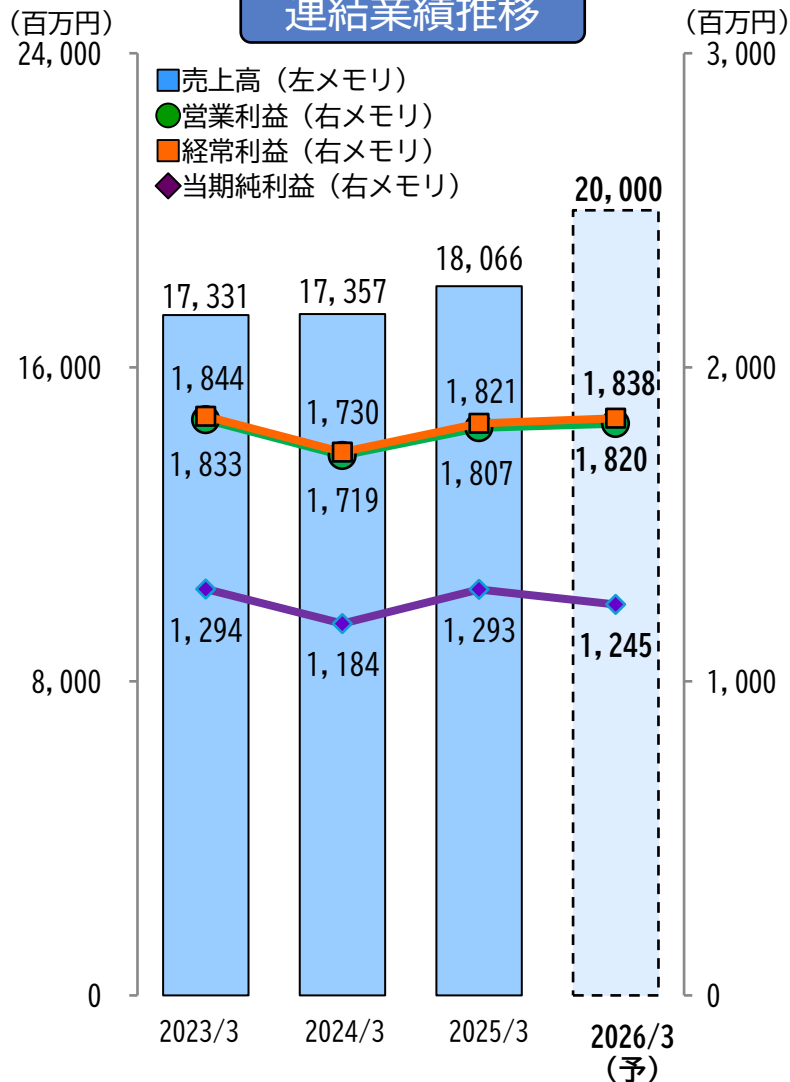


2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想

	2025/3期 実績	2026/3期 予想	増減率
売上高	18,066	20,000	+10.7%
営業利益 (利益率)	1,807 (10.0%)	1,820 (9.1%)	+0.7%
経常利益 (利益率)	1,821 (10.1%)	1,838 (9.2%)	+0.9%
当期純利益 (利益率)	1,293 (7.2%)	1,245 (6.2%)	▲3.7%
1株当たり 当期純利益	111円59銭	110円87銭	—

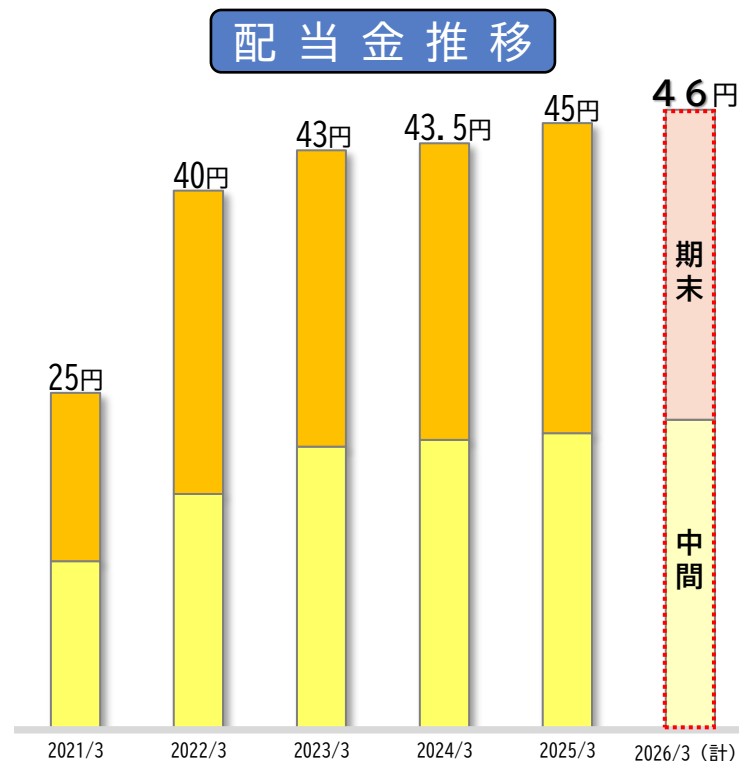
連結業績推移



配当の状況

- 配当の基本方針：安定的かつ適正な利益還元を継続して実施し、連結配当性向40%を目安とする
- 年間配当金：46円(中間・期末各23円)と前期より1円増配(5年連続増配)
(2026年3月期) 配当性向は41.5%となる見込み

	2025/3期	2026/3期	増 減
中 間 配 当	22円	23円 (実績)	+1円
期 末 配 当	23円	23円 (計画)	±0
年間合計	45円	46円 (計画)	+1円
配当性向	40.3%	41.5% (計画)	—



※2021年3月期の配当金は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行った影響を調整しております。

(お知らせ①)

個人投資家様向け会社説明会の開催

開催日時：2026年2月18日（水）20時00分

開催形式：オンライン

（後日、動画配信及び書き起こし記事を公開予定）

参加費：無料

参加方法：公式サイトをご確認ください

https://finance.logmi.jp/ir_live/912



ハイマックスは創立50周年

2026年5月21日 創立50周年 を迎えます

創業以来

- ・お客様からの信頼、及びパートナー企業様からの支援
- ・社員一人ひとりの真摯な取り組みと相互の支え合い

長期的かつ揺るがない関係を構築

50周年を通過点とし、今後も**人的資本への継続的投資**と**技術基盤の高度化**を通じて、**事業競争力の強化**及び**持続的な企業価値向上**に取り組みます。

次の50年も

”Your best partner.”

でありつづけるように
挑戦し続けてまいります。

HIMACS **50**th Anniversary
Special Invitation

創立50周年記念サイト公開中

今後もサイト内の
コンテンツを拡充
してまいります。
詳細につきましては
順次、当社ホーム
ページにて、ご案内
いたします。



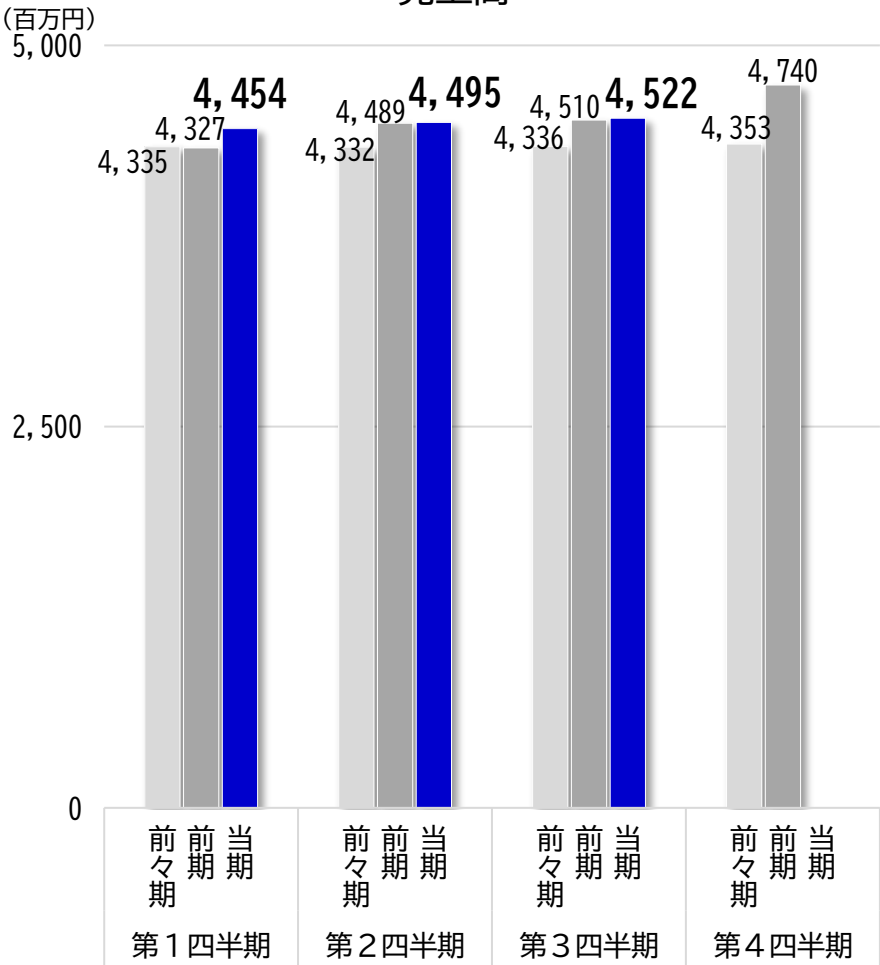
~ Appendix ~

(四半期推移)

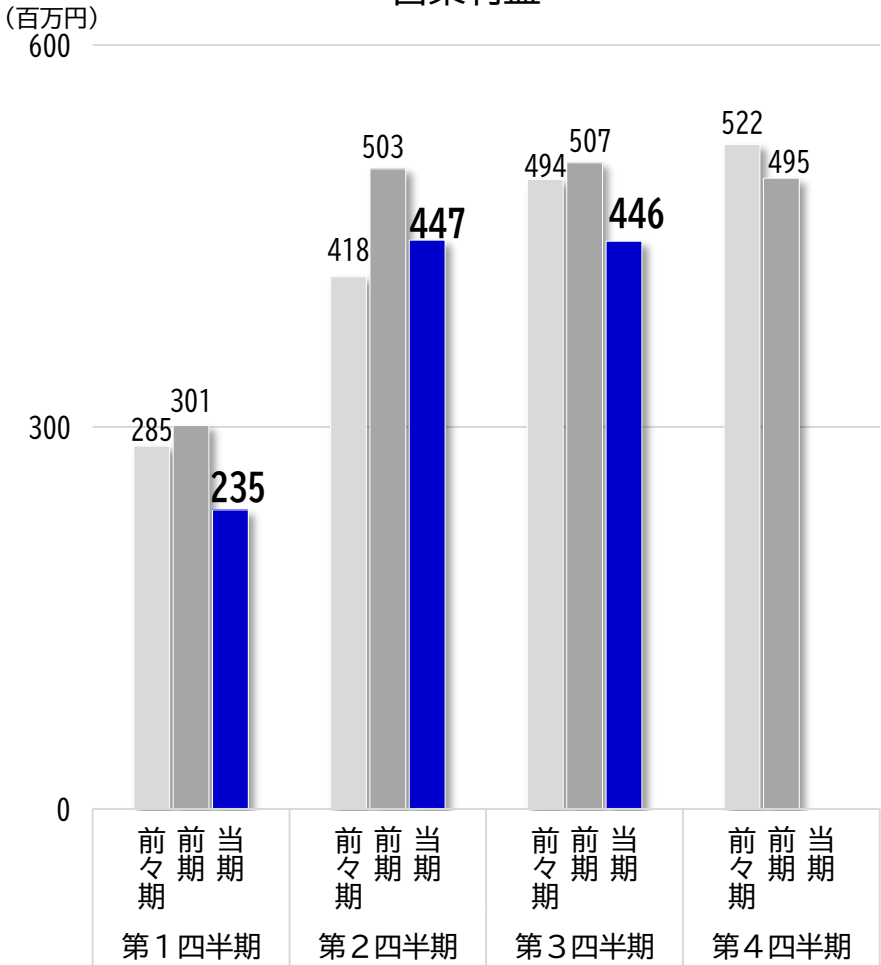
連結四半期推移（売上高・営業利益）

■当期：2026年3月期
■前期：2025年3月期
■前々期：2024年3月期

売上高



営業利益

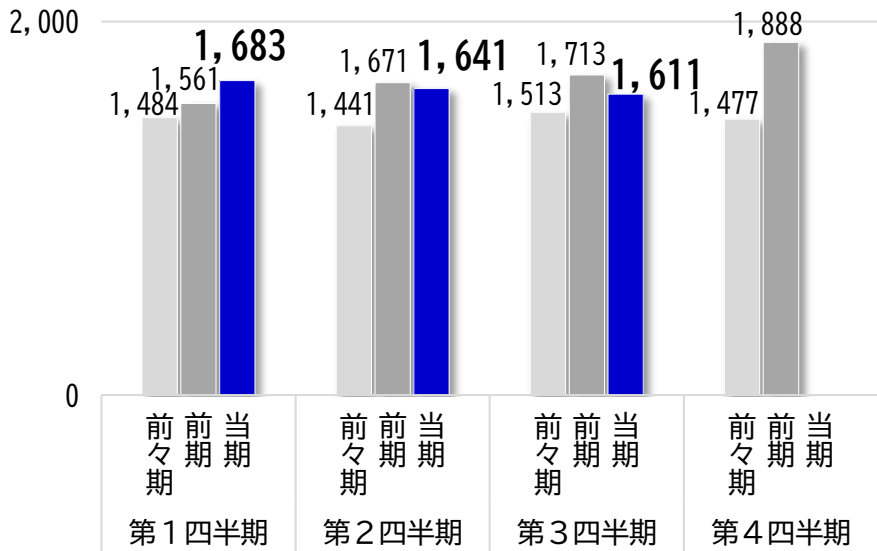


連結四半期推移（サービス分野別売上高）

■当 期：2026年3月期
 ■前 期：2025年3月期
 ■前々期：2024年3月期

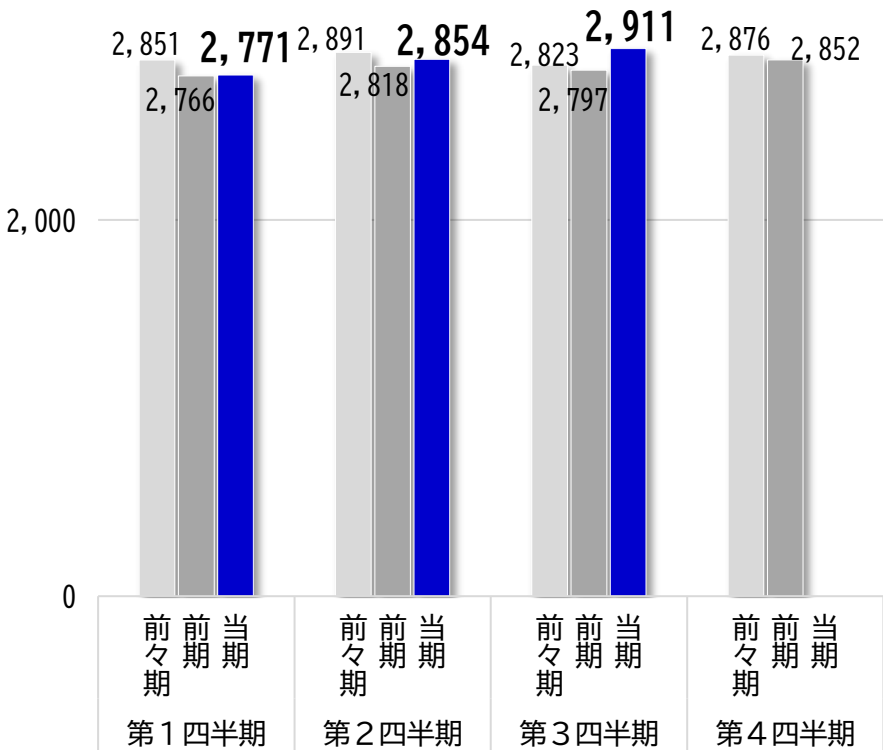
システム・ソリューションサービス
 （SSS）

（百万円）
 4,000



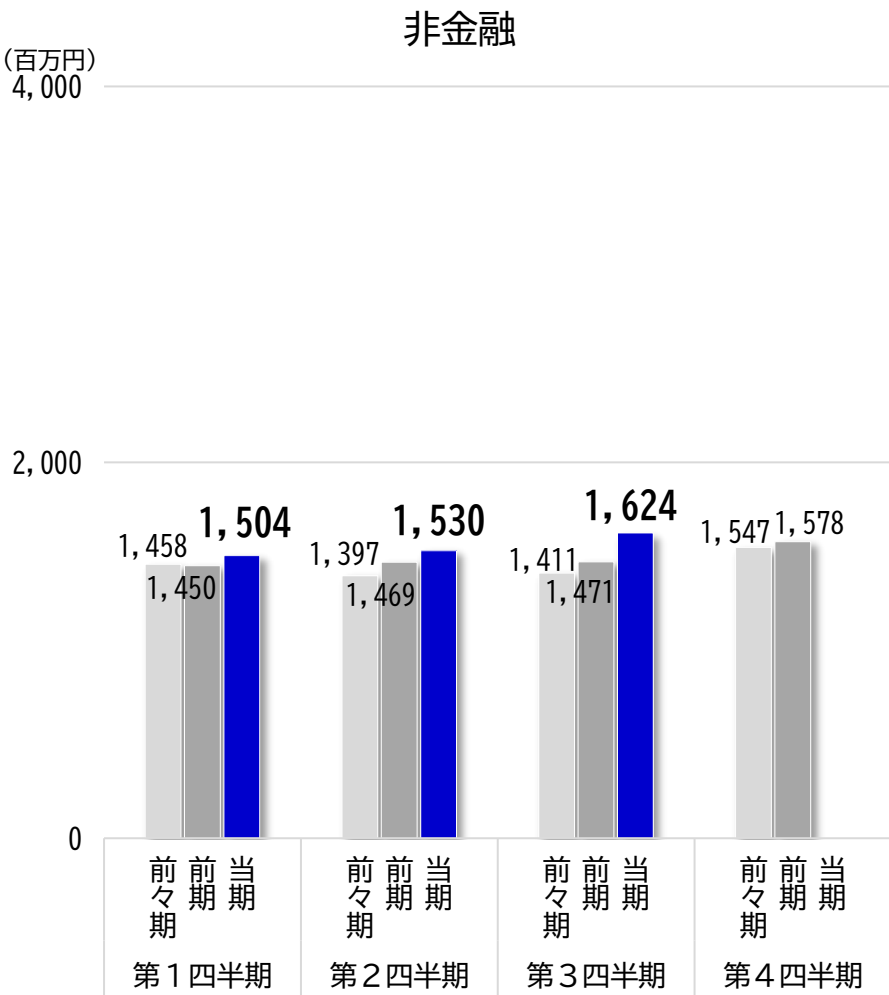
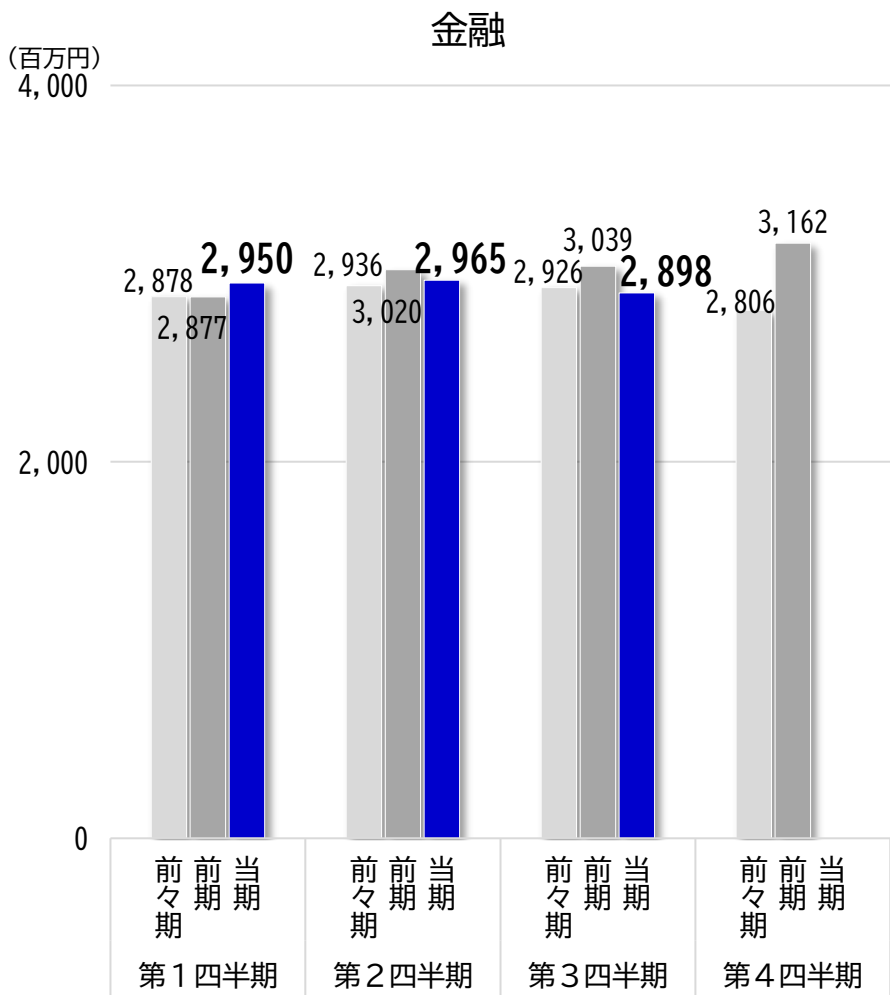
システム・メンテナンスサービス
 （SMS）

（百万円）
 4,000



連結四半期推移（業種別売上高）

■当期：2026年3月期
 ■前期：2025年3月期
 ■前々期：2024年3月期

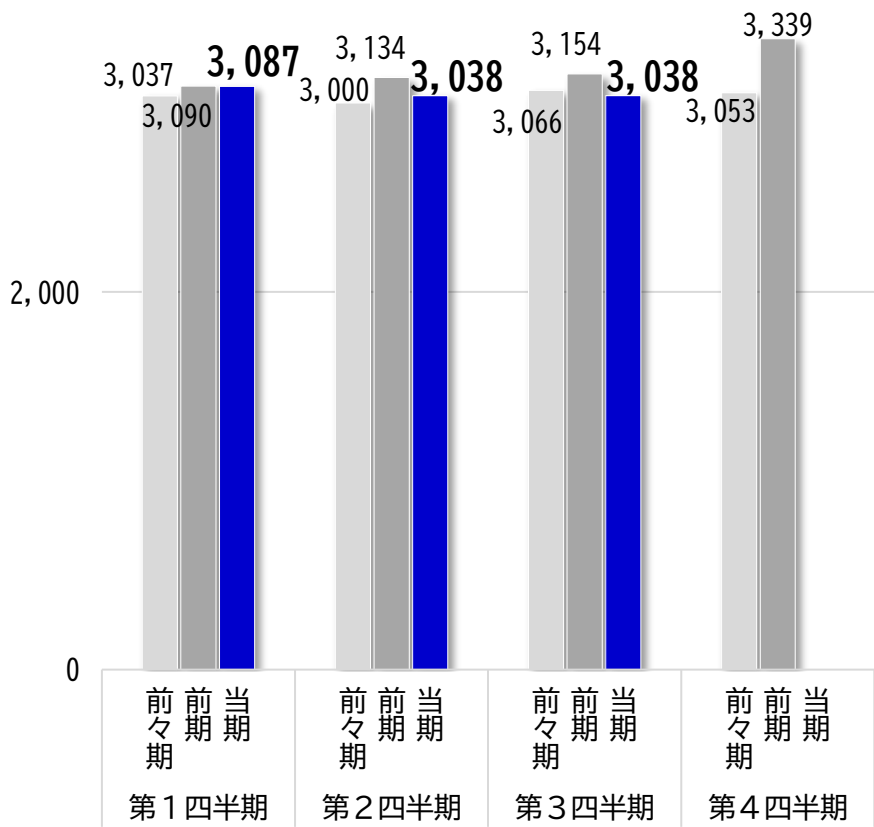


連結四半期推移（顧客別売上高）

■当 期：2026年3月期
 ■前 期：2025年3月期
 ■前々期：2024年3月期

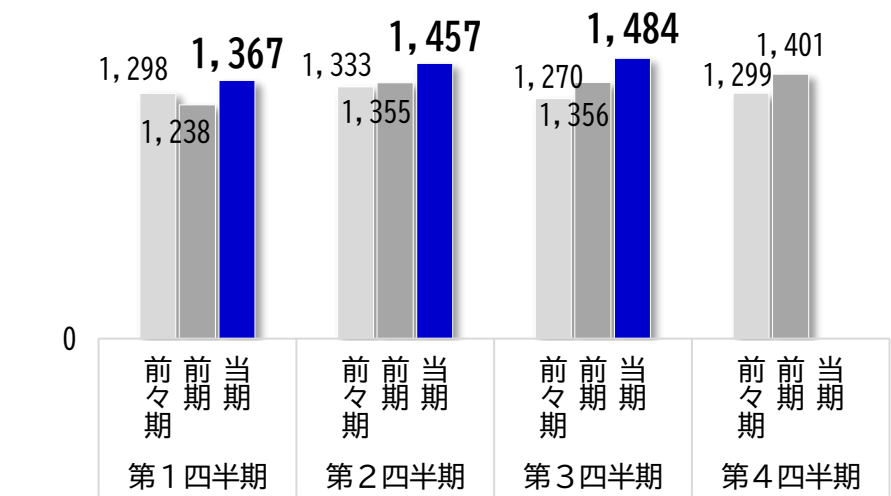
S I e r

(百万円)
4,000



エンドユーザー

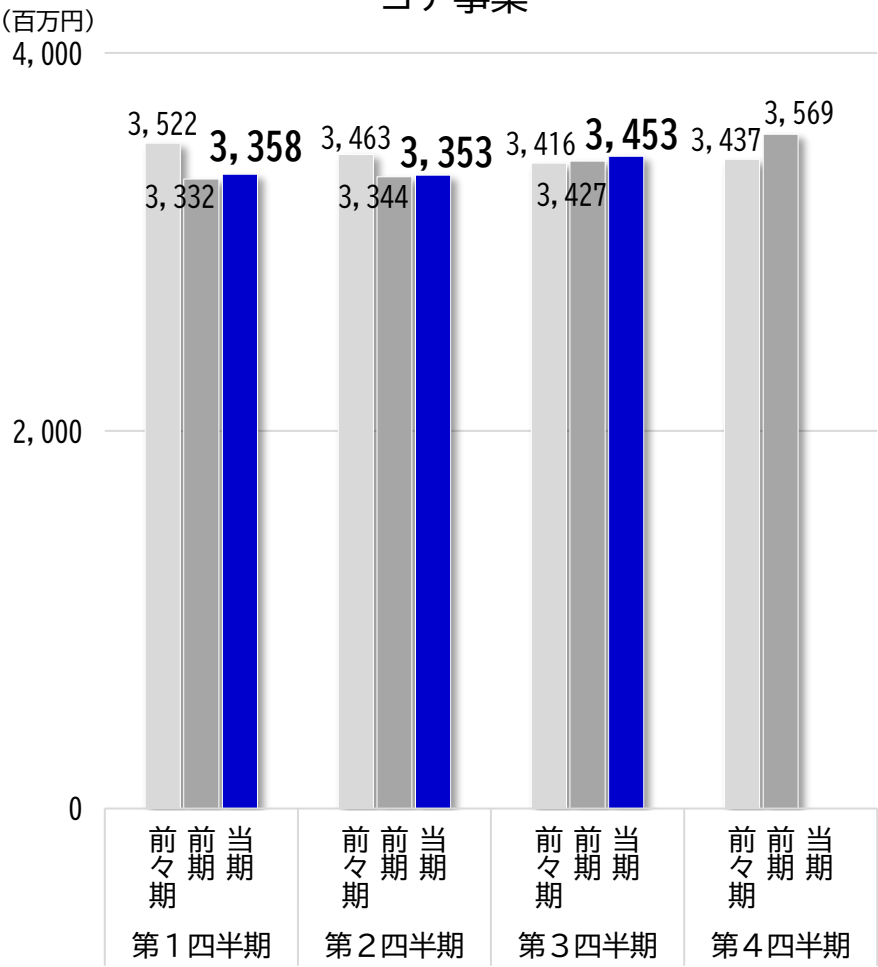
(百万円)
4,000



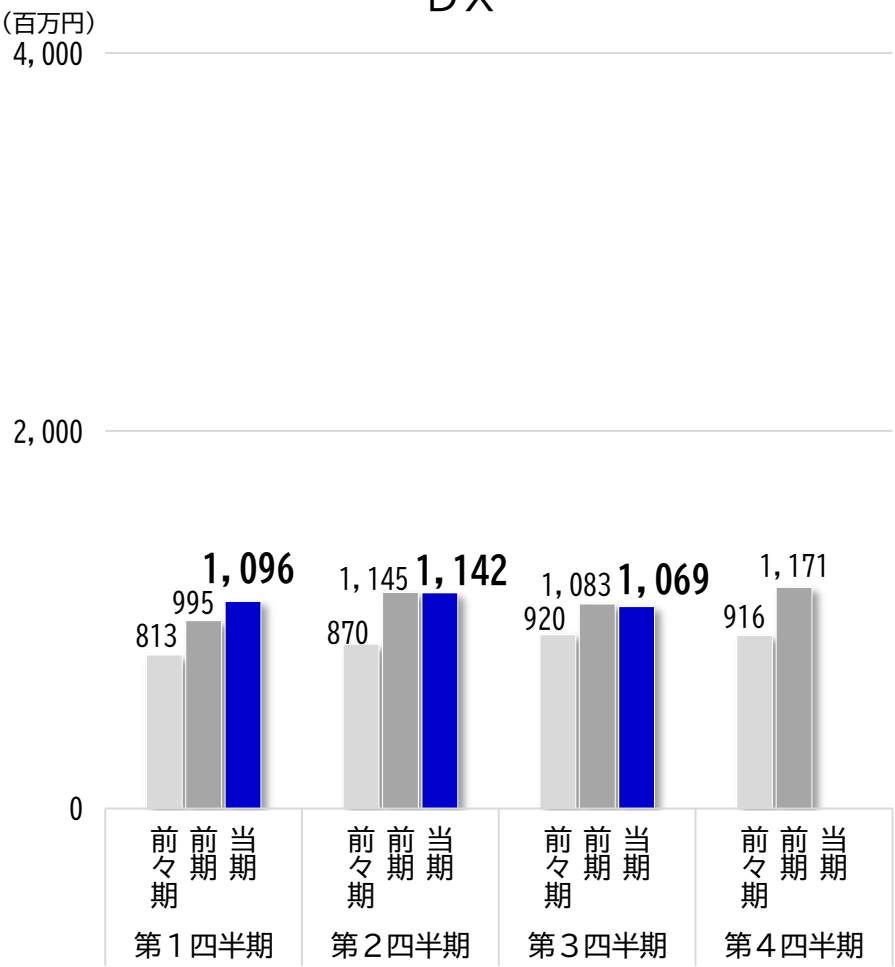
連結四半期推移（コア事業・DX別売上高）

■当期：2026年3月期
■前期：2025年3月期
■前々期：2024年3月期

コア事業



DX

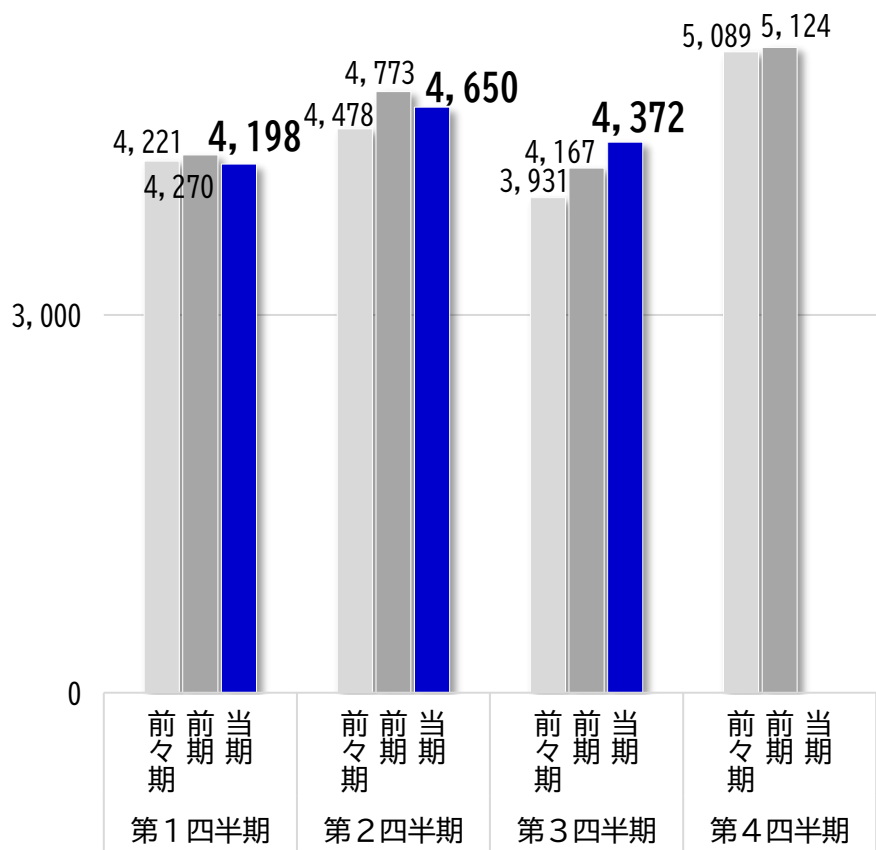


連結四半期推移（受注高・受注残高）

■当期：2026年3月期
■前期：2025年3月期
■前々期：2024年3月期

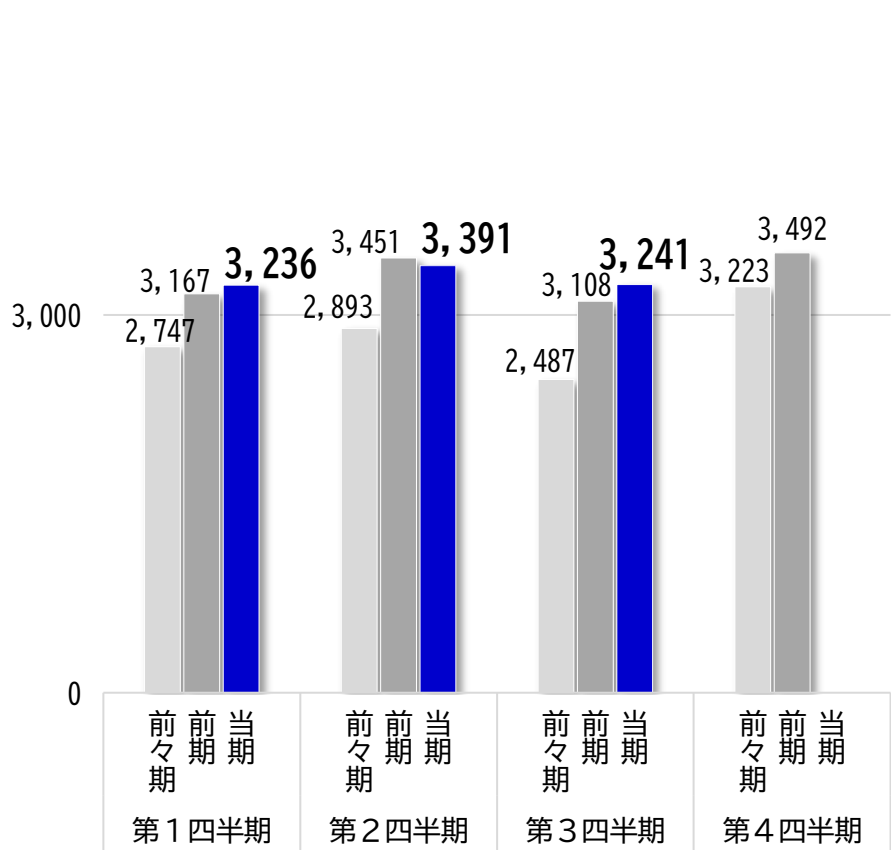
受注高

(百万円)
6,000



受注残高

(百万円)
6,000



2026年3月期 第3四半期 決算説明会

株式会社 **ハイマックス**
代表取締役社長 中島 太



本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問合せ先】 I R 室 メール：ir@himacs.co.jp T E L：045-201-6655（代）